

(様式1)

学校名	喜多方市立慶徳小学校	校長	石田 秀喜
住所	喜多方市慶徳町豊岡字今町381番地		
TEL	0241-22-1903	URL	https://kitakata.fcs.ed.jp/慶徳小学校

タイトル

「学校で学び 地域で育つ 慶徳の子」
～学校と地域 それぞれの教育力を生かした取組～

取組の概要

国指定重要無形民俗文化財の「慶徳御田植祭」や、新宮熊野神社長床、灰塚山古墳など、歴史と伝統文化が息づいている地区であり、地域の教育力も高く、学校・地域それぞれの教育力を生かした取組を積極的に行っている。

内容

慶徳御田植祭



520年続く「慶徳御田植祭」の伝統を受け継ぎ、本校児童が早乙女や笛、巫女などそれぞれの役割を担います。

毎年5月から、慶徳公民館や保存会の皆様のご指導のもと、早乙女踊りや笛の練習を始めます。踊りでの手足の動かし方や、横笛の音の出し方に苦労しながらも、伝統を引き継ぐことの大切さを肌で感じながら真剣な態度で練習に取り組めます。7月2日の祭り当日は、たくさんの観光客の皆さんの前で1～3年生の太鼓台引きを含め、全校生がそれぞれの役割を立派に果たします。文化庁の指定を受け、この御田植祭の様子を2年間かけて専門の撮影業者によりドキュメンタリー風に映像を記録し、国立国会図書館にも保管されるとのことです。

「小学校農業科」



各教科・領域で学んだことを活用する場の一つとして「農業科」を位置づけています。地元農家の方6名を支援員にお願いし、作物栽培のアドバイスをいただきます。6年生は、地元の伝統野菜である「慶徳玉ねぎ」を実際に育て、「6次産業化」の学習を生かして、慶徳玉ねぎの活用例を考え、教育研究会の場でプレゼンテーションを行いました。

スポーツアカデミー&学力向上委員会



水曜日、下校した児童のほとんどは、公民館事業の一つである「スポーツアカデミー」に参加しています。

教員の有資格者や国体出場経験のある方を含め4名の外部指導者が指導にあたり、陸上を中心にゲーム的要素を取り入れながら運動に親しむ時間となっています。

その時間帯に、学校では、「学力向上委員会」を実施し、金曜日の現職教育とは別に、授業力向上に向けた研修の時間としています。各種学力調査の分析をはじめ、普段の授業での課題や悩みについて共有し合える貴重な時間となっています。

参加者の感想

◆「慶徳御田植祭」

自分たちの御田植祭が国の宝物になり、今まで以上に伝統の重みを感じました。これからもこの伝統を大切に守り、伝えていこうと思いながら一生懸命躍りました。

◆ スポーツアカデミー

今まであまり運動が好きでなかったけど、今では陸上がとても楽しくなりました。学校として、放課後、研修の時間を確保することができ、とてもありがたいです。

◆ 小学校農業科

農業科の学習をしながら、国語や算数、理科、社会、道徳など普段学習していることがいろいろな場面で関係していることを知りました。